

第 2 章 事業の内容

1 参加者およびスケジュール

事業全体

- 実施日：1月20日（土）～21日（日） 美ら海づくりツアー（阿嘉島）
 2月 3日（土）～ 4日（日） 美ら海づくりツアー（座間味島）
 2月10日（土）～11日（日） ふれあいの森づくりツアー（阿嘉島）
 2月24日（土）～25日（日） ふれあいの森づくりツアー（座間味島）
 3月 3日（土）～ 4日（日） 美ら海づくりツアー（座間味島）
 3月10日（土）～11日（日） ふれあいの森づくりツアー（座間味島）

参加者：総数 158 名 申込者は 169 名（体調不良等で直前にキャンセルした方を含む）
 沖縄県内からの参加者 92 名（58%）
 沖縄県外からの参加者 66 名（42%）

美ら海づくりツアー（阿嘉島）

実施日：2007年1月20日（土）～21日

参加者：13名（男性6名/女性7名）

	性別	住 所	1日目	2日目	宿 泊
1	男	沖縄県 恩納村	サンゴ	ヨット	ペンションくば
2	女	沖縄県 恩納村	サンゴ	ヨット	
3	女	沖縄県 那覇市	ビーチ	ヨット	民宿すまいる
4	女	大阪府 寝屋川市	ビーチ	カヤック	民宿すまいる
5	男	沖縄県 名護市	サンゴ	カヤック	ペンションくば
6	女	沖縄県 名護市	サンゴ	カヤック	
7	男	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	民宿すまいる
8	女	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	民宿すまいる
9	男	沖縄県 名護市	ビーチ	ヨット	民宿川道
10	女	沖縄県 南風原町	サンゴ	カヤック	ペンションくば
11	女	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	民宿川道
12	男	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	
13	男	沖縄県 南城市	サンゴ	ヨット	民宿川道

2 日間のスケジュール

<1 日目>

時 間	内 容	会 場
9:45	那覇市泊港 フェリーざまみ乗船口にて集合	泊港
10:00	フェリーざまみ 出港	
11:30	阿嘉港 到着	
11:35	オリエンテーション ・ 仲村三雄座間味村村長挨拶 ・ 運営事務局挨拶 ・ 参加費徴収 / お弁当配布 ・ 民宿紹介	ターミナル
12:15	民宿にチェックイン・昼食・休憩	
13:15	ターミナルに再集合 ・ サンゴ保全活動（シロレイシガイダマシの駆除活動） ・ ビーチクリーン活動およびクラフト体験	ブツブツサンゴ 前浜ビーチ
16:00	活動終了・休憩	
17:30	美ら海レクチャー「慶良間諸島におけるサンゴ礁の保全」	
18:30	郷土料理および郷土芸能による交流会 ・ 村民による手料理 ・ 和太鼓および三線ライブ	離島振興総合センター
21:00	終了・希望者はそのまま 2 次会へ	白鯨

<2 日目>

時 間	内 容	会 場
9:00	民宿「すまいる」に集合・代替メニューの提案	
9:30	陶芸体験（荒天時代替メニュー）	離島振興総合センター
11:45	終了・高良家（慶留間島）観光	高良家（慶留間島）
13:00	弁当昼食・自由時間	
14:15	解散式 ・ アンケート記入 ・ 参加者からの感想 ・ 村民代表からの挨拶 ・ 運営事務局挨拶	ターミナル
15:00	フェリーざまみ 出港	
16:30	フェリーざまみ 泊港到着 解散	泊港

2 日目が荒天のためにシーカヤック / ヨット体験活動は中止。代替メニューとして陶芸体験および高良家（慶留間島）への観光を実施した。

美ら海づくりツアー（座間味島）

実施日：2007年2月3日（土）～4日

参加者：32名（男性20名/女性12名）

	性別	住 所	1日目	2日目	宿 泊
1	男	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	めんそーれ座間味
2	女	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	
3	男	沖縄県 那覇市	ビーチ	ヨット	
4	男	東京都 港区	サンゴ	カヤック	海の宿みなみ
5	女	東京都 港区	サンゴ	カヤック	
6	男	沖縄県 宜野湾市	サンゴ	ヨット	パティオハウスリーフ
7	女	東京都 中野区	ビーチ	カヤック	海の宿みなみ
8	男	静岡県 富士宮市	サンゴ	カヤック	レストハウスあさぎ
9	女	静岡県 富士宮市	サンゴ	カヤック	
10	男	沖縄県 名護市	サンゴ	カヤック	民宿 浜田
11	男	沖縄県 名護市	サンゴ	ヨット	民宿 浜田
12	女	沖縄県 名護市	サンゴ	ヨット	民宿 浜田
13	男	静岡県 富士宮市	ビーチ	カヤック	レストハウスあさぎ
14	男	愛知県 刈谷市	サンゴ	カヤック	パティオハウスリーフ
15	男	静岡県 富士市	ビーチ	カヤック	
16	女	沖縄県 名護市	ビーチ	ヨット	レストハウスあさぎ
17	男	奈良県 大和高田市	ビーチ	ヨット	めんそーれ座間味
18	男	沖縄県 豊見城市	サンゴ	カヤック	めんそーれ座間味
19	男	沖縄県 北谷町	サンゴ	カヤック	民宿 浜田
20	男	沖縄県 北谷町	ビーチ	カヤック	
21	男	大阪市 北区	サンゴ	カヤック	レストハウスあさぎ
22	男	大阪市 北区	ビーチ	カヤック	
23	男	沖縄県 浦添市	サンゴ	ヨット	パティオハウスリーフ
24	男	沖縄県 浦添市	ビーチ	カヤック	レストハウスあさぎ
25	女	沖縄県 浦添市	ビーチ	カヤック	
26	男	東京都 日野市	ビーチ	カヤック	めんそーれ座間味
27	男	沖縄県 恩納村	サンゴ	ヨット	パティオハウスリーフ
28	女	沖縄県 恩納村	サンゴ	ヨット	
29	女	沖縄県 宜野湾市	ビーチ	カヤック	海の宿みなみ
30	女	沖縄県 宜野湾市	ビーチ	カヤック	
31	女	沖縄県 宜野湾市	ビーチ	カヤック	
32	女	沖縄県 浦添市	サンゴ	カヤック	レストハウスあさぎ

2 日間のスケジュール

< 1 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:45	那覇市泊港 フェリーざまみ乗船口にて集合	泊港
10:00	フェリーざまみ 出港	
12:00	座間味港 到着	
12:10	オリエンテーション ・高良豊座間味村助役挨拶 ・運営事務局挨拶 ・参加費徴収 / お弁当配布 ・民宿紹介	ターミナル
12:30	民宿にチェックイン・昼食・休憩	
13:30	ターミナルに再集合 ・サンゴ保全活動（シロレイシガイダマシの駆除活動） ・ビーチクリーン活動およびクラフト体験	ブツブツサンゴ 古座間味ビーチ
16:00	活動終了・休憩	
17:30	海のライド&ムービーショー	
18:30	郷土料理および郷土芸能による交流会 ・村民による手料理 ・琉球舞踊および地元バンドによるライブ	総合センター
21:00	終了・希望者はそのまま 2 次会へ	ラ・トゥーク

< 2 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:30	ターミナルに集合 ・シーカヤック体験 ・ヨット体験	阿真ビーチ
12:00	終了・弁当昼食・自由時間	
14:15	解散式 ・アンケート記入 ・参加者からの感想 ・村民代表からの挨拶 ・運営事務局挨拶	ターミナル
15:00	フェリーざまみ 出港	
17:00	フェリーざまみ 泊港到着 解散	泊港

2 日目の午後の自由時間にホエールウォッチングに参加した方は、解散式には参加できなかったため、16:20 出港のクイーンざまみ（高速艇）を利用した。

美ら海づくりツアー（座間味島）

実施日：2007年3月3日（土）～4日

参加者：45名（男性25名/女性20名）

	性別	住 所	1日目	2日目	お泊り
1	女	奈良県 生駒市	ビーチ	カヤック	海の宿 みなみ
2	男	千葉県 千葉市	サンゴ	カヤック	めんそーれ座間味
3	女	千葉県 柏市	サンゴ	カヤック	海の宿 みなみ
4	男	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	めんそーれ座間味
5	女	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	
6	男	神奈川県 逗子市	ビーチ	ヨット	民宿 浜田
7	女	神奈川県 逗子市	ビーチ	カヤック	
8	女	神奈川県 逗子市	ビーチ	カヤック	
9	男	沖縄県 糸満市	サンゴ	ヨット	民宿 浜田
10	男	沖縄県 糸満市	ビーチ	ヨット	
11	男	沖縄県 糸満市	ビーチ	ヨット	
12	男	神奈川県 三浦郡	サンゴ	カヤック	めんそーれ座間味
13	女	宮崎県 日南市	サンゴ	ヨット	民宿 宮村
14	女	沖縄県 名護市	サンゴ	ヨット	
15	男	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	ペンション高月
16	女	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	
17	女	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	
18	男	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	レストハウス あさぎ
19	男	愛知県 半田市	ビーチ	カヤック	
20	女	愛知県 半田市	ビーチ	カヤック	
21	女	三重県 南牟婁郡	ビーチ	カヤック	レストハウス あさぎ
22	女	三重県 南牟婁郡	ビーチ	カヤック	
23	男	東京都 港区	サンゴ	カヤック	パティオ ハウスリーフ
24	女	東京都 港区	ビーチ	カヤック	
25	男	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	ペンション星砂
26	男	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	
27	男	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	民宿 船頭殿
28	女	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	
29	男	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	
30	男	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	ペンション高月
31	女	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	
32	男	沖縄県 那覇市	サンゴ	カヤック	ペンション星砂
33	男	沖縄県 那覇市	ビーチ	カヤック	
34	男	兵庫県 神戸市	サンゴ	ヨット	めんそーれ座間味
35	女	山梨県 上原市	ビーチ	カヤック	民宿 宮村
36	女	山梨県 上原市	ビーチ	カヤック	
37	女	東京都 杉並区	サンゴ	カヤック	海の宿 みなみ
38	男	沖縄県 北谷町	サンゴ	カヤック	パティオ ハウスリーフ
39	男	沖縄県 北谷町	サンゴ	カヤック	
40	男	沖縄県 北谷町	サンゴ	ヨット	
41	男	神奈川県 横浜市	ビーチ	カヤック	ナトゥーラ
42	女	神奈川県 横浜市	ビーチ	ヨット	
43	女	神奈川県 川崎市	ビーチ	ヨット	レストハウスあさぎ
44	女	東京都 渋谷区	サンゴ	カヤック	ナトゥーラ
45	男	東京都 渋谷区	サンゴ	カヤック	

2 日間のスケジュール

< 1 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:45	那覇市泊港 フェリーざまみ乗船口にて集合	泊港
10:00	フェリーざまみ 出港	
12:00	座間味港 到着	
12:10	オリエンテーション ・宮村英美座間味村経済建設課課長挨拶 ・運営事務局挨拶 ・参加費徴収 / お弁当配布 ・民宿紹介	ターミナル
12:30	民宿にチェックイン・昼食・休憩	
13:30	ターミナルに再集合 ・サンゴ保全活動（ホワイトシンドロームの調査） ・ビーチクリーン活動およびクラフト体験	ニシバマビーチ 阿佐ユヒナ
16:00	活動終了・休憩	
17:30	美ら海レクチャー「慶良間諸島におけるサンゴ礁の保全」	総合センター
18:30	郷土料理および郷土芸能による交流会 ・村民による手料理 ・琉球舞踊および地元バンドによるライブ	
21:00	終了・希望者はそのまま 2 次会へ	ラ・トゥーク

< 2 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:30	ターミナルに集合 ・強風と高波によるプログラム変更について説明 ・ヨット体験 ・染め物体験 ・ホエールウォッチング	阿真ビーチ 体系滞在交流施設 座間味近海
12:30	終了・弁当昼食・自由時間	
14:15	解散式 ・アンケート記入 ・参加者からの感想 ・村民代表からの挨拶 ・運営事務局挨拶	ターミナル
15:00	フェリーざまみ 出港	
17:00	フェリーざまみ 泊港到着 解散	泊港

低気圧接近に伴う強風と高波の影響で、シーカヤック体験は催行中止。代替メニューとして染め物体験および古座間味ビーチ観光またはホエールウォッチングを実施した。

ふれあいの森づくりツアー（阿嘉島）

実施日：2007年2月10日（土）～11日

参加者：15名（男性6名/女性9名）

	性別	お住まい	お泊り
1	女	千葉県 柏市	ペンション くば
2	女	東京都 小金井市	ペンション くば
3	女	神奈川県 横浜市	ペンション くば
4	男	神奈川県 横浜市	
5	女	神奈川県 横浜市	
6	男	沖縄県 豊見城市	民宿すまいる
7	女	沖縄県 豊見城市	
8	男	沖縄県 豊見城市	
9	男	沖縄県 豊見城市	
10	女	沖縄県 糸満市	ペンション ゲルマ
11	男	沖縄県 糸満市	
12	男	沖縄県 糸満市	
13	女	沖縄県 糸満市	
14	女	沖縄県 那覇市	ペンション くば
15	女	沖縄県 浦添市	ペンション ゲルマ

2 日間のスケジュール

< 1 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:45	那覇市泊港 フェリーざまみ乗船口にて集合	泊港
10:00	フェリーざまみ 出港	
11:30	阿嘉港 到着	
11:35	オリエンテーション ・宮村英美座間味村経済建設課課長挨拶 ・運営事務局挨拶 ・参加費徴収 / お弁当配布 ・民宿紹介	ターミナル
12:15	民宿にチェックイン・昼食・休憩	
13:15	離島振興総合センターに再集合 ・陶芸体験（シーサー作り） ・染め物体験（赤土染め）	離島振興総合センター
17:00	活動終了・休憩	
17:30	クジラに関するレクチャー	
18:30	郷土料理および郷土芸能による交流会 ・村民による手料理 ・和太鼓および地元バンド（座間味島）によるライブ	
21:00	終了・希望者はそのまま 2 次会へ	白鯨

交流会では地元名人による三線ライブを予定していたが、演者急用のため出演できなくなり、急ぎょ座間味島から地元バンドが駆けつけた。

< 2 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:30	離島振興総合センターに集合 ・自分だけのオリジナル看板制作 ・シークワサー植えおよび看板設置	離島振興総合センター 天城展望台駐車場近く
12:30	終了・弁当昼食・自由時間	
14:45	解散式 ・アンケート記入 ・参加者からの感想 ・村民代表からの挨拶 ・運営事務局挨拶	ターミナル
15:30	フェリーざまみ 出港	
17:00	フェリーざまみ 泊港到着 解散	泊港

ふれあいの森づくりツアー（座間味島）

実施日：2007年2月24日（土）～25日

参加者：23名（男性4名/女性19名）

	性別	住 所	宿 泊
1	女	東京都 練馬区	めんそーれ座間味
2	女	山口県 下関市	海の宿みなみ
3	女	沖縄県 南風原町	めんそーれ座間味
4	女	沖縄県 南風原町	
5	女	沖縄県 南城市	パティオハウスリーフ
6	女	沖縄県 南城市	
7	女	沖縄県 南城市	
8	男	沖縄県 南城市	パティオハウスリーフ
9	男	沖縄県 南城市	
10	女	大阪府 泉佐野市	レストハウスあさぎ
11	女	大阪府 泉佐野市	
12	女	沖縄県 南城市	めんそーれ座間味
13	女	東京都 町田市	ペンション星砂
14	女	沖縄県 浦添市	海の宿みなみ
15	女	沖縄県 浦添市	
16	女	ニカラグア	レストハウスあさぎ
17	女	マレーシア	
18	女	ニカラグア	民宿浜田
19	女	ホンジュラス	
20	男	スリナム	ペンション星砂
21	男	マケドニア	
22	女	沖縄県 宜野湾市	民宿浜田
23	女	沖縄県 宜野湾市	

16～21の6人はJICA 沖縄国際センターの研修生

2 日間のスケジュール

< 1 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:45	那覇市泊港 フェリーざまみ乗船口にて集合	泊港
10:00	フェリーざまみ 出港	
12:00	座間味港 到着	
12:10	オリエンテーション ・ 仲村三雄座間味村村長挨拶 ・ 運営事務局挨拶 ・ 参加費徴収 / お弁当配布 ・ 民宿紹介	ターミナル
12:30	民宿にチェックイン・昼食・休憩	
13:30	バスにて体験滞在交流施設（于浜）に移動 ・ 陶芸体験（シーサー作り） ・ 染め物体験（フクギ染め）	体験滞在交流施設
17:30	活動終了・休憩・自由時間 ・ ツーリズムフォーラム（希望者のみ） ・ 夕陽ツアー（希望者のみ）	総合センター
20:00	郷土料理および郷土芸能による交流会 ・ 村民による手料理 ・ 琉球舞踊および地元バンド（座間味島）によるライブ	総合センター
21:30	終了・希望者はそのまま 2 次会へ	三楽

夜の交流会は、同日開催の「ホエールウォッチングフェスタ 2007 『ツーリズムフォーラム』」との合同実施となった。

< 2 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:30	総合センターに集合 ・ 自分だけのオリジナル看板制作 ・ シークワサー植えおよび看板設置	総合センター 中岳の手前道路沿い
12:30	終了・弁当昼食・自由時間	
14:15	解散式 ・ アンケート記入 ・ 参加者からの感想 ・ 村民代表からの挨拶 ・ 運営事務局挨拶	ターミナル
15:00	フェリーざまみ 出港	
17:00	フェリーざまみ 泊港到着 解散	泊港

ふれあいの森づくりツアー（座間味島）

実施日：2007 年 3 月 10 日（土）～11 日

参加者：30 名（男性 10 名 / 女性 20 名）

	性別	住 所	宿 泊
1	男	沖縄県 名護市	めんそーれ座間味
2	男	福岡県 福岡市	サンゴイン浜
3	女	東京都 昭島市	レストハウスあさぎ
4	女	東京都 昭島市	
5	女	東京都 昭島市	
6	女	埼玉県 富士見市	海の宿 みなみ
7	女	沖縄県 那覇市	レストハウスあさぎ
8	女	沖縄県 那覇市	
9	女	東京都 杉並区	ペンション高月
10	女	東京都 杉並区	
11	女	東京都 杉並区	
12	男	京都府 京都市	サンゴイン浜
13	女	東京都 江東区	海の宿 みなみ
14	女	沖縄県 南城市	レストハウスあさぎ
15	男	沖縄県 那覇市	パティオ
16	女	沖縄県 那覇市	ハウスリーフ
17	男	スリランカ	サンゴイン浜
18	男	沖縄県 那覇市	ペンション星砂
19	女	沖縄県 那覇市	
20	女	沖縄県 那覇市	
21	女	沖縄県 那覇市	めんそーれ座間味
22	男	沖縄県 那覇市	
23	女	神奈川県 相模原市	海の宿 みなみ
24	男	沖縄県 東村	めんそーれ座間味
25	男	東京都 中野区	パティオ
26	女	東京都 中野区	ハウスリーフ
27	女	沖縄県 那覇市	レストハウスあさぎ
28	男	北海道 札幌市	あかばな
29	女	沖縄県 名護市	ペンション星砂
30	女	沖縄県 名護市	

17 の Aruna さんは JICA 沖縄国際センターの研修生

2 日間のスケジュール

< 1 日目 >

時 間	内 容	会 場
9:45	那覇市泊港 フェリーざまみ乗船口にて集合	泊港
10:00	フェリーざまみ 出港	
12:00	座間味港 到着	
12:10	オリエンテーション ・宮村英美座間味村経済建設課課長挨拶 ・運営事務局挨拶 ・参加費徴収 / お弁当配布 ・民宿紹介	ターミナル
12:30	民宿にチェックイン・昼食・休憩	
13:30	バスにて体験滞在交流施設（于浜）に移動 ・陶芸体験（シーサー作り） ・染め物体験（フクギ染め）	体験滞在交流施設
18:00	活動終了・休憩・自由時間	
18:30	郷土料理および郷土芸能による交流会 ・村民による手料理 ・琉球舞踊および地元バンド（座間味島）によるライブ	総合センター
21:30	終了・希望者はそのまま 2 次会へ	三楽

< 2 日目 >

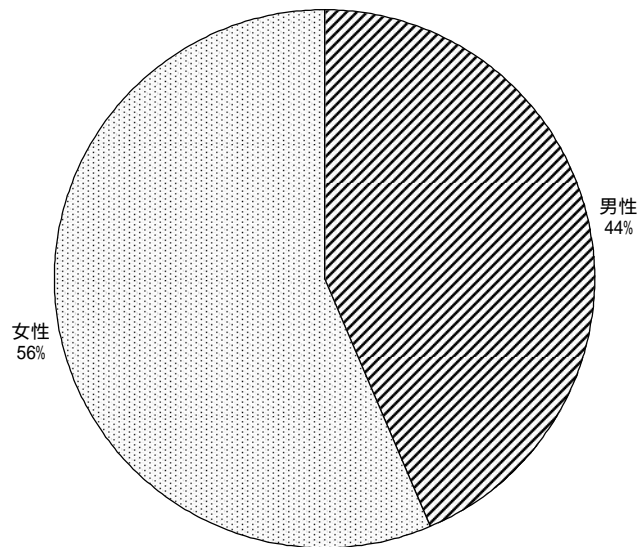
時 間	内 容	会 場
9:30	総合センターに集合 ・自分だけのオリジナル看板制作 ・シークワサー植えおよび看板設置	総合センター 阿真旧道近く道路沿い
12:30	終了・地元の食堂にて昼食・自由時間	
16:45	解散式 ・参加者からの感想 ・村民代表からの挨拶 ・運営事務局挨拶	ターミナル
17:20	クイーンざまみ 出港	
18:10	クイーンざまみ 泊港到着 解散	泊港

今回はフェリーざまみの運航スケジュール変更に伴い、復路はクイーンざまみ（高速艇）の利用となった。

参加者属性

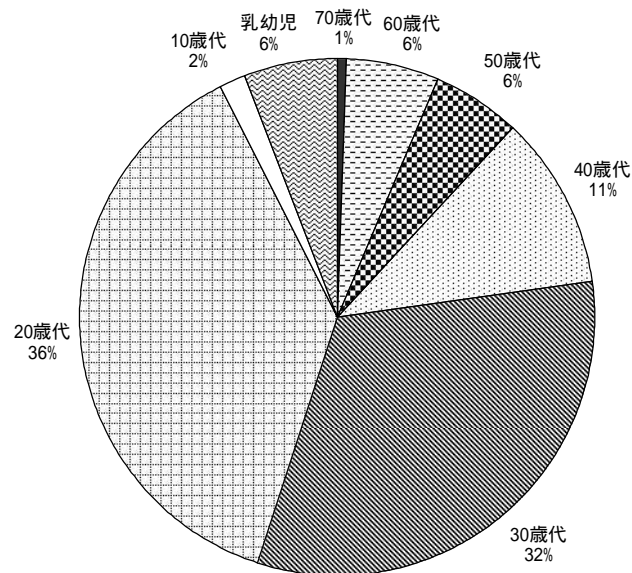
男女比：男性（69名）・女性（89名）

『参加者の男女比』グラフ



年代別の割合：乳幼児（9名）・10歳代（3名）・20歳代（59名）・30歳代（51名）
40歳代（17名）・50歳代（9名）・60歳代（9名）・70歳代（1名）

『参加者の年代別割合』グラフ

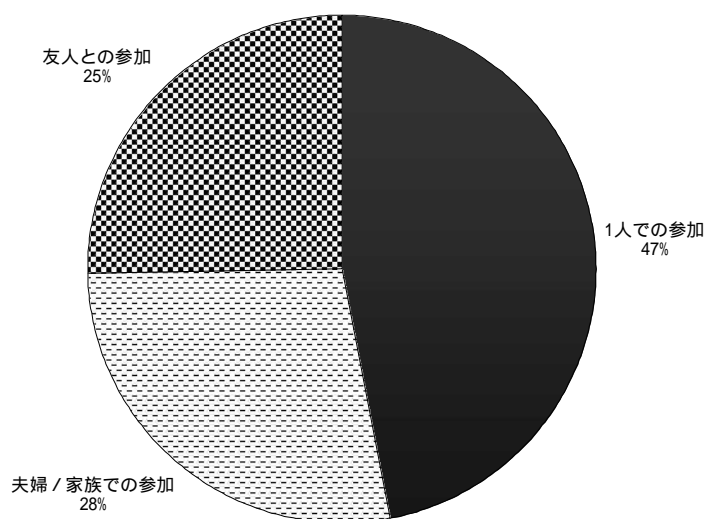


県外参加者の居住地：1 都 1 道 2 府 12 県

東京都（20 名）・神奈川県（11 名）・大阪府（5 名）・静岡県（4 名）
愛知県（3 名）・千葉県（3 名）・奈良県（2 名）・三重県（2 名）
山梨県（2 名）・北海道（1 名）・京都府（1 名）・埼玉県（1 名）
兵庫県（1 名）・福岡県（1 名）・宮崎県（1 名）・山口県（1 名）
海外（7 名）

参加形態：1 人での参加（39 組）・夫婦／家族での参加（23 組）・友人との参加（21 組）

『参加形態』グラフ



2 プログラム内容

美ら海づくりツアー

サンゴの保全活動

座間味村を含む慶良間海域には、オーストラリア東岸に位置する世界最大のサンゴ礁・グレートバリアリーフと同等の種類サンゴ礁群があると言われ、その多様性は内外から注目を集めている。しかしながら、近年オニヒトデをはじめとしてサンゴ類を食害する生き物が異常発生する事態が続いており、地元のダイビング協会を中心とした駆除活動やパトロールが続けられている。

今回のツアーでは当初、昨年度に引き続いてオニヒトデ等の駆除活動を実施する予定であった。しかし、上述のダイビング協会の努力もあって、オニヒトデによる食害の被害が沈静化していること、またオニヒトデに代わって新たな食害や病変が報告されていることから、アクキガイ科のシロレイシガイダマシの駆除活動およびホワイトシンドローム病変部の切除活動を実施した。

シロレイシガイダマシは殻長 3cm ほどの巻貝で、サンゴの中に入り込んで食害をしていることから、参加者は長いピンセットのような器材を使って 1 個体ずつつまんで網に入れるという作業を繰り返した。

一方ホワイトシンドロームは、サンゴのポリプが白く変色し、やがて群体全体に拡大して死滅する原因不明のサンゴの病気。座間味・渡嘉敷両村の 3 ダイビング協会が組織する慶良間海域保全連合会が最近実施した調査では、一部の地域でテーブルサンゴの 30% が罹患していることが判明している。参加者は、ハンマーやタガネを用いて病変部をサンゴ群体から取り崩すという応急処置を施した。

ピンセットやハンマーを持つてのダイビングであり、参加者にとっては慣れない作業であったことから、思うようには捗らなかった参加者もいたが、これまで知ることのなかった座間味のサンゴが直面している問題を目の当たりにして、海を愛するダイバーとして新たな意識が芽生えたようだった。



撮影：小菅陽子



ビーチクリーン活動

冬の時期は北風によって、中国や韓国といった隣国からの漂着ゴミが大量に流れ着く時期である。こうしたゴミは、村民によって定期的に回収されているものの、回収の翌日にはまた大量に打ち上げられるといったイタチごっこが繰り返されている。

今回のツアーでは、阿嘉島では前浜ビーチを、座間味島では古座間味ビーチ（2月）と阿佐コヒナビーチ（3月）を会場に選定し、村民と参加者が一体となってビーチクリーン活動を実施した。一部のツアーでは回収するゴミの種類毎にチームを設定して一体感を高めるといった工夫も見られ、いずれのビーチでも、持参したビニール袋が足らなくなるほど、大量のゴミを回収できた。参加者からは、「美しい座間味の海の“知られざる一面”を垣間見た」と、驚きと感謝の声が挙がっていた。

ゴミを回収した後は、貝殻やビーチグラスといった“宝物”を拾う時間が設定され、フォトフレーム作りや携帯電話のストラップ作りといったクラフト体験へとプログラムが移行された。また一部のツアーでは、ビーチで産卵するウミガメに関するエピソードが紹介され、参加者は自分たちがきれいにした砂浜にウミガメが戻ってくる様子を想像していた。



シーカヤック体験

シーカヤックには、一般的に「リジット艇」と言われるタイプの艇が用いられた。用意された艇はいずれも2人乗りで、1人参加の参加者にとっては、新しい仲間づくりの契機となった。まず乗船やパドルングの方法等についてレクチャーが行われ、前半は浜辺付近での練習、その後いよいよ沖へと漕ぎ出し、最終的には阿真ビーチの正面に位置する無人島・嘉比島へ全員無事に渡りきっての上陸となった。カヌーから箱メガネ（水中を観察する道具）を使って水中のサンゴ礁群を覗きこむ姿も見られ、参加者は座間味の海の美しさに目を奪われている様子だった。

なお、今年度は阿嘉島でのツアーは悪天候のために、また座間味島でのツアーも1回（3月）は強風による高波のために体験が中止となった。



ヨット体験

ヨットには、一般的に「シーホッパー」と言われるタイプの艇が用いられた。参加者のほとんどが初心者であることも鑑み、参加者 1 人に指導員 1 人が同乗して操縦するマン・ツー・マン方式が採用された。阿嘉島でのツアーはあいにくの悪天候により体験が中止されたため、今年度は座間味島・阿真ビーチでの 2 回の実施のみとなったが、参加者は風を体全体に感じるヨットならではの爽快感を味わい、歓声を上げていた。



ふれあいの森づくりツアー

シークワサーの植樹

このプログラムには、シークワサーという果樹を植えることで、実をつける 3~5 年後に再び参加者が収穫の目的で座間味村を訪れて欲しいという意図がある。従って、「自分が植えたシークワサー」という所有意識と愛着を高めってもらうために、参加者にはまず、それぞれにオリジナルの看板を制作してもらった。耐水性に優れたマジックを使って、絵を描く者、メッセージを書き込む者、他の参加者に寄せ書きをしてもらう者など、個性あふれる「芸術作品」が仕上がっていた。看板は上からニスを複数回吹きかけ、完全に乾いた段階でめでたく完成。ここから、会場を森の中へと移して、シークワサー植樹が実施された。

まず植樹に当たっての注意点が説明された後、参加者 1 人につき 3~5 本の苗木とスコップを持って散らばり、思い思いの場所に 1 本ずつ愛情を持って植えていった。苗木 2 本につきポリタンク 1 本の割合でたっぷり水を注いで地面を固めた後は、お気に入りの 1 本の近くに看板を埋め込み、自らのシークワサーと実をつける頃の「再会」を約束していた。

シークワサー植樹にあたっては、村民も多く参加した。優美な花を咲かせたケラマツツジと一緒に愛でたり、熟したヤマモモの実をとって味見をするなど、森を舞台に村民と参加者の交流も促進していた。なお、今年度の事業で植えたシークワサーは延べ 500 本にのぼる。



染め物体験

阿嘉島・座間味島ともに、地元の素材を使った染め物を体験して欲しいとの思いから、阿嘉島では赤土が、座間味島ではフクギがそれぞれ染料として採用された。

参加者は頭の中でデザインイメージを膨らませながら、割り箸や輪ゴムを使って白い綿布を縛ったり折りたたんだりしていき、その後いよいよ染色へ。赤土染めでは、赤土の細やかな感触を手先で確かめるように、フクギ染めでは煮出した色に驚きながら、ゆっくりと染まっていく過程を楽しんでいた。

焙煎液に浸して色を定着させた後は、いよいよ緊張の一瞬。割り箸や輪ゴムを一つ一つ丁寧にほどいていき、“出たとこ勝負”の染まり具合を自分の目で初めて確認する。想像以上の出来栄に自画自賛する参加者、イメージとはかけ離れた作品になった参加者など様々で、参加者同士のコミュニケーションも一気に盛り上がっていた。



陶芸体験

沖縄における文化体験の代表格とも言えるシーサー作りに挑戦した。赤土粘土をこねて、土台となる足・手・口を順番に作り、目や鼻・舌やたてがみといったパーツをくっつけていく。土の中に空気が残ると焼いた際に割れてしまうため、乾燥から発生するひび割れを一つ一つ丁寧にすり潰していきながら、表面を滑らかに整えてなければいけない。参加者は職人になったかのような真剣な眼差しで、シーサーに魚をくわえさせたり泡盛の瓶を持たせたりと思いつきの表情や装飾を創作していった。

シーサーは作る人に似ると言われるだけに、出来上がったシーサーはいずれも個性豊かで、会場ではあちこちで爆笑の渦ができていた。参加者はお互いの健闘を称えながら、焼き上がって自宅に送られてくる数ヶ月先が待ち遠しいという表情だった。



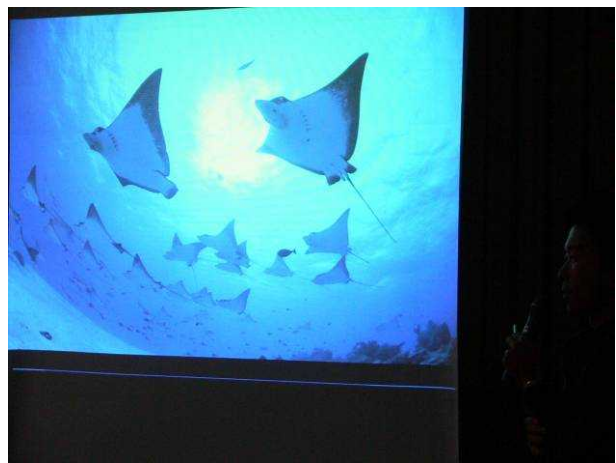
両ツアー共通

座間味の海に関連したレクチャー

昨年度は 1 日目の体験プログラムが終わった後、夜の交流時間までは自由時間としていたが、座間味の自然についてより深く知って欲しいとの思いから、今年度は 1 時間のレクチャーやスライドショーを設定した。

合計 6 回のツアー中、レクチャーは 4 回実施された。¹慶良間海域保全連合会参事の入川暁之氏を講師に、「慶良間諸島におけるサンゴ礁の保全」と題してサンゴの多様性や直面している問題・それに対する取り組みなどを紹介したレクチャーが 2 回、座間味村ホエールウォッチング協会スタッフを講師に、ちょうどシーズンが重なっていたホエールウォッチングに関する話題やクジラの生態を紹介したレクチャーが 1 回、海洋写真家の井上慎也氏とディレクターの高松明日香氏で結成されている「うみまーる」による、座間味の美ら海やそこに生きる海洋生物のあどけない表情のスライド&ムービーショーが 1 回、それぞれ実施された。

参加者は、座間味の海の美しさや豊かさを改めて実感し、今回のツアーがその自然を守り育むことにつながっていることを再認識した様子だった。



手作りの郷土料理

昨年度に引き続き、阿嘉島では阿嘉生活研究会のメンバーが、座間味島では家庭料理のぎくの中村きく氏を中心とする民宿のおかみさんグループによる、愛情の詰まった 100% 手作りによる郷土料理が提供された。参加者は、想像をはるかに超えたメニュー数と味の良さに驚き、そして感動していた。主なメニューは次頁のとおり。



¹ 1 回は「ホエールウォッチングフェスタ 2007 ツーリズム・フォーラム」の開催と重なったため、1 回は染め物・陶芸体験にたっぷり時間をかけたため、それぞれ実施せず。

阿嘉島	座間味島
<ul style="list-style-type: none"> ・イラブチャーの唐揚げ ・マグロとセイカの刺身 ・クーブイリチー ・おからと中華イカのマヨネーズ和え ・パパイヤサラダ ・タコライス ・しみじしと大根の煮物 ・島野菜の天ぷら ・テンペ ・ジュージー ・ゆし豆腐入りの沖縄そば ・大根のわさび漬 ・サーターアングギー 	<ul style="list-style-type: none"> ・豚肉入り煮物 ・クーブイリチー ・沖縄スギ、アオリイカ、島タコの刺身 ・沖縄スギカルパッチョ ・沖縄スギ塩焼き ・ソーメン / パパイアチャンプルー ・季節の野菜サラダ ・イナムルチ ・ソーキ汁 / 中身汁 ・インカのめざめのハーブソテー ・もずくの天ぷら ・おにぎり ・豆腐ケーキ

郷土芸能

阿嘉島では「くじら太鼓」による勇壮なリズムと三線名人・中村武次郎氏による琉球民謡が、座間味島では「平良富士子琉舞道場座間味支部」のメンバーによる華麗な琉球舞踊と、地元バンド「ザ・マミーズ」による元気あふれる島唄の数々が披露された。

最初は聞き入ったり見入ったりと、「鑑賞」していた参加者だったが、時間が経つにつれて次第に手拍子が始まったり体が動き出したりと賑やかな雰囲気生まれ始め、いずれの回も最後は村民・参加者が入り混じってのカチャーシーとなった。

村民と手をとって一緒に踊ったり、舞台上がって自分の踊りを披露したり、数珠繋ぎになって会場内を走り回ったりと、まるで学園祭のような盛り上がりとなり、参加者は汗をかきながらも最高の笑顔がはじけていた。座間味の夜が忘れられないひとときになったに違いない。



おもてなしの心

本事業は、座間味村民と参加者との交流を通して、参加者が座間味村のサポーターになることを目的の1つに掲げている。（P3：事業の目的を参照）交流促進のためにも、村民によるおもてなしの心は本事業を成功させるうえで欠かすことのできない要素であるが、昨年同様、手作り感にあふれたぬくもりもある対応が随所に垣間見られた。

フェリーざまみが港に到着した際、参加者の耳に飛び込んできたのは、民宿のオーナーが島唄のリズムに合わせて奏でる三線とエイサーの音色だった。また、ターミナルや夜の交流会会場には、民宿めんそーれ座間味の宮平善孝氏直筆による、「歓鯨」の文字で始まる横断幕が掲げられていた。到着後のオリエンテーションでは、村長・助役あるいは経済建設課長が歓迎の挨拶を行い、さながら「入村式」の様子を呈していた。

郷土料理には、手書きのお品書きやレシピが用意され、阿嘉島では村民自作の立体感あふれるオブジェが楽しい雰囲気を出していた。一方、昼食のお弁当にはダイオキシンを発生させない環境に配慮したパッケージが用意され、座間味村の自然を参加者と共に守っていきたいという意思が表れていた。

地元バンドによるライブ演奏では、三線を弾くことができる参加者が舞台上上がり、バンドメンバーと即席のセッションを行うシーンも見られた。また、参加者の中でちょうど当日が結婚記念日という夫婦がいたツアーでは、会場の聴衆全員で祝福し、生涯の思い出となる記念日を演出していた。2次会会場でも、三線名人や地元バンドによる即興の演奏があり、参加者は大喜びをしながら喝采を送っていた。

全てのプログラムを終了し、ターミナルで執り行われた解散式には、参加者が宿泊したそれぞれの民宿のオーナーが駆けつけた。座間味村のサポーターになる参加者に、感謝の言葉とまた座間味に帰ってきて欲しいという熱い想いを伝え、固い握手を交わしていた。

参加者がフェリーに乗船する際には、船の中で食べてとサーターアングギーが配られ、ホエールウォッチング協会が発行している2007年のカレンダーが手渡された。フェリーが見えなくなるまで村民関係者が手を振り、それに応える参加者の中には涙ぐむ姿も見受けられた。

座間味の最大の魅力は、こうしたぬくもりに溢れたおもてなしの数々であり、それを提供する村民1人1人である。自然豊かな座間味村に、家族や親友のような知人ができることで、参加者は必ず座間味村のリピーターやサポーターになり、また新たな参加者を連れてくるに違いない。

座間味村が、自然環境を大切に守り育みながら地域活性化を実現するためには、村民1人1人が意識を高く持ち、また村民同士が連携して座間味村としてのホスピタリティを高めていく必要があると強く実感した。



3 プログラムの指導・実施に携わった村民および関係者

美ら海づくりツアー

サンゴの保全活動

阿嘉・慶留間ダイビング協会

- ・垣花 薫
- ・森山 敦
- ・豊島 正彦
- ・吉村 強
- ・大島 哲哉
- ・安彦 秀樹

座間味ダイビング協会

- ・又吉 英夫
- ・宮平 安弘
- ・宮城 靖
- ・菊田 徹
- ・宮平 一明
- ・神部 隆弘

- ・又吉 泰平
- ・和山 通年
- ・田口 哲生
- ・岸 敦史
- ・宮平 充
- ・森泉 なおき
- ・徳田 みちあき

ビーチクリーン活動

阿嘉島

- ・照喜名 ナリコ
- ・金城 悦子
- ・金城 明子
- ・茂木 恵美子
- ・森山 久子
- ・阿部 直子
- ・金城 有海

- ・金城 尚子
- ・川井 愛
- ・渡辺 千代美
- ・鴨谷 有紀
- ・当間 順子
- ・喜屋武 和美
- ・豊島 倫子

座間味島

- ・井上 慎也
- ・高松 明日香
- ・大坪 弘和
- ・宮平 和文
- ・比嘉 のぞみ
- ・松室 るみ子
- ・富山 加奈

シーカヤック体験（1回実施）

座間味島

- ・宮里 順二

- ・今岡 朋子

ヨット体験（2回実施）

座間味島

- ・宮平 譲治
- ・松田 力

- ・大城 晃
- ・宮平 充
- ・大城 忍

ふれあいの森づくりツアー

陶芸体験

阿嘉島

- ・豊島 倫子
- ・阿部 直子

座間味島

- ・真島ひとみ
- ・宮平 譲治
- ・宮平 清志

染め物体験

阿嘉島

- ・豊島 倫子
- ・阿部 直子

座間味島

- ・高江洲 美由紀
- ・田村 圭子

シークワサー植樹

阿嘉島・座間味島共通

- ・大城 忍
- ・宮平 重則
- ・宮平 謙治
- ・沖縄庭芸（2名）

両ツアー共通

座間味の海に関するレクチャー

阿嘉島

- ・玉井 律子（クジラ）
- ・當山 加奈（クジラ）

阿嘉島・座間味島共通

- ・入川 暁之（サンゴ）

座間味島

- ・井上 慎也（スライドショー）
- ・高松 明日香（スライドショー）

手作りの郷土料理

阿嘉生活研究会

- ・安彦 悦子
- ・伊敷 由紀子
- ・中村 カツコ
- ・渡辺 裕子

- ・中村 竹子
- ・垣花 由美子
- ・吉村 直子
- ・垣花 珠恵

座間味島

- ・中村 きく
- ・浜田 純子
- ・宮平 智子
- ・松田 美智代
- ・宮平 笑美子

郷土芸能

くじら太鼓（阿嘉島）

- ・中村 秀克
- ・大村 真雄
- ・渡辺 裕子
- ・中村 友紀
- ・大村 みや子
- ・永岡 ひろみ
- ・中村 佐恵子
- ・永岡 典子

三線（阿嘉島）

- ・中村 武次郎
- 琉球舞踊（座間味島）
- ・市村 志津子
- ・田中 英理子
- ・佐藤 夏麻
- ・浜田 幸子
- ・岸本 トヨコ
- ・高江洲 美由樹
- ・宮平 笑美子
- ・宮平 智子

ザ・マミーズ（座間味島）

- ・宮村 幸文
- ・佐野 裕二
- ・大坪 弘和
- ・岸 敦史
- ・宮里 順二
- ・片岡 美樹
- ・佐藤 夏麻
- ・宮里 哲
- ・今岡 朋子

プログラム手配

- ・宮平 清志